

令和元年11月14日
(2019年)

保護者の皆さまへ

吹田市立第六中学校
校長 岡本 紀子

平成31年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、3年生を対象として「平成31年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語と数学、英語に限られています。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった3年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法へと工夫改善にも取り組んでまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

1 教科に関する調査結果の分析

- 国語・・・「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域については、全国値を下回り、「書くこと」の領域については、全国値をやや下まわっている。

《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

話すこと・聞くこと

- ・「話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ」ことについては、課題がある。

書くこと

- ・「書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する」や「伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く」は概ねできている。

読むこと

- ・「文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ」ことは全国値とほぼ同じである。
- ・「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える」ことに課題がある。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・「封筒の書き方を理解して書く」ことには課題がある。

国語における成果と今後の改善点について

文章で自分の考えや気持ちを表現することには、作文活動の成果が見られる。しかし、論理的な展開を捉えることや伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項に課題があるため、今後は授業を通して改善に努める。

- 数学**・・・「数と式」の領域は、全国値をやや上回り、「図形」の領域は全国値を上回っている。一方で、「関数」と「資料の活用」の領域については、全国値をやや下回っている。

《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

数と式

- ・基本的な計算等については全国値を上回り、基礎的な力の定着はみられる。
- ・一方で、活用力をみる問題では、全国値をやや下回り、課題がある。

図形

- ・結論が成り立つための前提を考え、説明する問題では、全国値を上回り、この領域については、よく理解ができています。

関数

- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を説明する問題では、全国値を下回り、この領域を苦手としている生徒が多いことがわかる。

資料の活用

- ・資料の傾向をとらえて、判断の理由を数学的な表現で説明する問題では、全国値を下回り、資料を読み取る力をつける必要がある。
- ・一方で、確率の問題は、全国値を上回り、よく理解ができています。

数学における成果と今後の改善点について

「数学の勉強は好きですか」、「授業の内容はよく分かりますか」という質問に対する肯定意見の割合が、全国値を上回り、本調査においてもよい結果として表れている。一方で「数学の授業で学習したことが、将来、社会に出て役に立つと思いますか」という質問に対する肯定意見の割合が全国値より低くなっており、今後は、学びを社会生活や身近な場面に関連付けて指導していく。

- 英語**・・・「聞くこと」「読むこと」の領域については、全国値を下回っている。「書くこと」の領域については、全体的に全国値とほぼ同じである。「話すこと調査」については、参考値としてではあるが、全国値を下回っている。

《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

聞くこと

- ・「聞いて把握した内容について、適切に応じることができる」という項目については、全国値と比べて無回答率が高く正答率も下回っている。

話すこと（参考値）

- ・正答率は全国値を下回っているが、無回答率は全国値より低く、答えに自信がなくても何かを伝えようとする意欲が見られる。

読むこと

- ・「書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる」という項目については、全国値と比べて無回答率が高く正答率も下回っている。

書くこと

- ・「語や文法事項などを理解して正しく文を書く」という力は概ねできているが、「与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある文章を書く」ことには課題がある。

英語における成果と今後の改善点について

語や文法の知識を問う問題については単語テストや基礎プリントの成果が見られる。しかし既習事項を場面に合わせて正確に活用することや、情報を整理し、自分の意見を形成して正しく伝えることには課題が見られる。そのため文法事項を指導する際、コミュニケーションをとるうえでいかに文法が使われているかを意識させ、目的・場面・状況を明確にしたコミュニケーション活動を取り入れていきたい。

2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

【自分自身に関すること】

(ア) 自己肯定感

「自分にはよいところがある」「先生はあなたのいいところを認めてくれていると思いますか」の問いに対する回答は、全国値を下回っている。

(イ) 将来の夢

「将来の夢や目標を持っている」は、全国値を下回っているが、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」は、全国値を上回っている。多くの生徒が「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えており「将来、英語を使うような生活をしたり職業に就きたい」は全国値を上回っている。

【家庭生活・学習に関すること】

(ア) 規則正しい生活習慣

ほとんどの生徒が「朝食を毎日食べている」や「毎日、ほぼ同じ時間に寝起きしている」と答え、全国値とほぼ同じである。

(イ) 家庭での学習習慣

「家で自分で計画を立てて勉強をしている」は、全国値を下回っているが、「2時間以上勉強している」は、全国値を上回っている。

(ウ) 家での過ごし方について

「家の人と学校での出来事について話をする」は、全国値をやや上回っているが、「30分以上読書をする」や「新聞を読む」割合は全国値を下回っている。

(エ) 地域とのかかわり

「地域行事への参加」は全国値を下回っているが、「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」は全国値を上回っている。

【学校生活・学習に関すること】

(ア) 規範意識

「学校の規則を守っている」は全国値をやや上回り、肯定意見は100%でした。また、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」は、全国値をやや上回っている。

(イ) 学習に関する関心・意欲・態度

「国語・英語の勉強は好き」は全国値を下回り、「数学」は全国値を上回っている。また「国語の授業の内容はよくわかる」は全国値を下回り、「数学・英語」は全国値を上回っている。そして「国語・英語・数学の授業は将来、社会に出た時に役に立つと思いますか」については、全国値とほぼ同じである。

(ウ) 授業

「1・2年生の時に受けた授業で、コンピュータなどのICTを週1回以上使用した」は全国値を下回っている。また「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりする」は全国値を下回りましたが、道徳の授業では、「自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んだ」は全国値を上回っている。1・2年のときに受けた英語の授業で「聞く、または読むことから概要や要点をとらえる活動が行われた」、「原稿などを準備することなく、自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われてた」、「聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べた合ったりする活動が行われた」は全国値を下回りましたが、「スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われた」については全国値を上回っている。

3 今後の取り組み

1. 教科に関して

本校では、教科に関する調査結果を分析し、六中生の強み弱みを把握して、授業の工夫改善に努めます。また、生徒が意欲的に学習に取り組めるようICTを効果的に活用した授業づくりを進めてまいります。

生徒の学力向上を図るためには、家庭学習の習慣を定着させることが不可欠です。そのため、ご家庭でも、声をかける、頑張りの過程をほめる、励ますなど、子どもたちのやる気を引き出すなどについてご協力をお願いいたします。

2. 学習環境・生活環境に関して

【自分自身に関すること】

授業、特別活動、道徳など自尊感情を高める取り組みとともに、進路学活でも自ら自信をもって進路を選択するよう進めていきます。家庭におかれましても、進路を選択する場面などでは、将来について話す機会を引き続き作っていただきますようお願いいたします。

【家庭生活・学習に関すること】

「朝食を食べる」、「同じ時刻に寝起きする」という基本的な生活習慣については、各ご家庭のご協力により、改善が見られました。引き続きよろしく願いします。

【学校生活・学習に関すること】

今後も集団活動を通じて、自主・自立の精神を育み、自尊感情が高まる取り組みを推進します。授業の中でも、話し合い活動やペア学習、グループ学習の活動を増やし、自らの考えを伝え合い「主体的・対話的な深い学び」を進めることで、他者理解を深め、自己肯定感をつけるよう努めてまいります。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。